

気象庁入札監視委員会 審議概要

開催日及び場所	平成29年2月24日(金) 気象庁総務部会議室(5F)	
委員	浅野 正一郎(国立情報学研究所名誉教授) 左近 輝明(弁護士) 杉本 洋文(東海大学工学部教授)	
審議対象期間	平成28年4月1日~平成28年9月30日	
契約の現状の説明等	入札・契約手続の運用状況等の報告	
総抽出案件	4件	備考
工 事	一般競争	2件
	指名競争	
	随意契約	
建設コンサルタント業務等	一般競争	
	指名競争	
	随意契約	
物品・役務等	一般競争	2件
	指名競争	
	随意契約	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	別紙のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	特になし	

意見・質問	回 答
1．入札・契約手続の運用状況等の報告	
特に意見なし	
2．花巻航空気象観測所航空統合気象観測システム基礎等設置工事（仙台管区気象台）	
<p>予定価格と契約額に大きな差があった分電盤は、業界的に見積額と実施額とが離反していることから、過去実績の見積額と実施額の差を調査し、率を掛けて積算すれば良いのではないか。</p> <p>市場調査をして、実勢価格というのはいくらののだということを設計者として自らやるべきなので、外注設計の仕様書において、「実勢価格の見積（市場調査）を取得する」旨を明記した方が良いと思われる。</p>	<p>過去実績については、調査を行っているので、率を使った積算も検討していきたい。</p> <p>今後、設計の段階で指示することとしたい。</p>
3．奈良地方気象台庁舎等解体撤去工事（大阪管区気象台）	
<p>積算で3者から見積を取っているが、本工事の受注者からも取っているのか。</p> <p>受注者は発生材処分費の契約単価を積算時の見積より落としているのか。</p> <p>見積と入札との価額の違いについては検証すべきではないか。</p> <p>見積を取った3者はどのような基準で選んだのか。</p>	<p>はい。発生材処分費などの単価見積を取った者が、落札者となった。</p> <p>はい。</p> <p>検討する。</p> <p>本工事の設計・積算業務を受注した業者が見積を取ったが、工事現場に近い場所に施設等を持っている許可業者ということで3者を選んだ。内訳としては奈良が2者、大阪が1者。</p>

意見・質問	回 答
<p>奈良県の業者だけではなく、大阪の業者を 1 者入れたのは何か理由があるのか。</p> <p>本件は奈良県以外で処理をしているが、産廃は各県で基準を決めており、持ち出しているものといけないものがある。県内で処理しなければいけないものがあるはず。</p> <p>各県の環境基準やごみ処理の基準というのをベースにした積算や仕様書としなければならない。</p>	<p>その点は確認できていない。</p> <p>本件については、ご指摘を踏まえて、取壊しが完了するまで、コンプライアンスの遵守意識を十分に持って監督していきたい。</p>
4．気象データ交換動作環境（クラウドサービス等）の提供（予報部）	
<p>なぜ 1 者入札となったのか。入札不参加者の理由に「マンパワーが足りない」というのがあるが、具体的な理由を詳細に聞くべきではないか。</p> <p>意見招請で「各社の意見を聞いて仕様に反映させた。」ということであるが、どういう意見があって、どのように仕様書を修正したのか。</p> <p>気象情報のハンドリングに関してはどの程度専門性が要するのか。例えば運用管理であるとか、この情報の配信方法などで何か特別の知識が必要なのか。それともどんな者でも対応できるのか。</p>	<p>1 者応札になった理由について、本件を題材にして、調査を行いたい。</p> <p>意見招請で寄せられた意見は、「仕様内容を明確にしてほしい」「仕様内容が厳しいので、緩和してほしい」という意見で、「仕様内容はこういう理解でいいか」という確認もあった。</p> <p>こうした意見内容を踏まえ、特定の 1 者に利するような内容でない限りすべて仕様書に反映させており、公平な仕様書であると考えている。</p> <p>気象情報の提供を行うようなシステムというのはかなり高度な知識が必要で、経験も当然必要になってくる。今回、意見を寄せた各者に関しては、かつて気象庁の主幹の通信システムを受注した者などであり、各者とも技術的な特色はあるにせよ、十分に対応可能であると理解している。</p>

意見・質問	回 答
5．行政文書の電子化業務（総務課）	
<p>低入札価格は結果として「悪く」、予定価格に近ければ「良い」とするのは理解できない。予定価格の算出の妥当性が問われており、すでに3回発注していることから、人工数が想定できるのではないか。</p>	<p>今後検討していきたい。</p>
6．まとめ	
<p>工事部材に見積と実績の差が大きいケースでは、過去の実績等を参考にして予定価格を作っていたきたい。</p> <p>また、1 者入札の原因についてもっと徹底的に追及して、多数参加した入札が行われるように努めてほしい。</p> <p>類似案件を繰り返し行う場合は、過去の作業実績を予定価格に採り入れていただきたい。</p> <p>今回の意見を参考にして、今後とも適正かつ公正な入札契約手続きをしていただけるようお願いする。</p>	